

テーマ「本当に地球温暖化しているのか？」

1 根拠

根拠となる主な要素は、気温上昇、温室効果ガスの増加、海洋の変化、雪氷圏の変化、生物圏の変化の約5個の根拠がある。

気温上昇＝世界平均気温は過去100年で1℃上昇し、特に近年は上昇ペースが加速している。温室効果ガスの増加＝人間の生活によって排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が、産業革命以前に比べて大幅に増加している。海洋の変化＝海面水温や海面水位が上昇しており、海面が膨張していることや、海洋深層の温度も上昇していることが確認されている。雪氷圏の変化＝氷河や海氷の面積が減少し、永久凍土も融解している。生物圏の変化＝生物の生息域が変化するから影響が出始めている。

2 原因

人間活動による温室効果ガス排出増加です。特に、化石燃料の燃焼によって発生する二酸化炭素が大きな割合を占めている。

発電、製造、森林伐採、輸送手段利用、食料の生産、建物への電力供給、過剰な消費の約7個の原因がある。発電＝石炭や石油、天然ガスなどを燃焼させることによる発電や発熱が、地球規模での温室効果ガス排出の大部分を示している。製造＝製造業と工業は主に、セメントや鉄、鋼、電子機器、プラスチック、衣類など製造に必要なエネルギーをつくり出すために化石燃料を燃焼させることで温室効果ガスを排出している。森林伐採＝農業や牧草地づくりなど、様々な目的で森林を伐採すると、樹木が蓄えた炭素が伐採時に放出されるため、温室効果ガスが排出されている。輸送手段の利用＝乗用車やトラック、船舶、飛行機のほとんどが、燃料として化石燃料を利用している。食料の生産＝食料を生産するには、農機具や漁船を動かすエネルギーが必要であり、一般に化石燃料が使われている。牛は温室効果の高いメタンガスを発生させる。建物への電力供給＝世界的に見れば、住宅や商業ビルが全電力の半分以上を消費している。過剰な消費＝住宅や電力の使用、移動手段、食料、破棄物の量など、すべてが温室効果ガスの排出につながります。衣類、電子機器、プラスチックなどの製品の消費も同様です。

3 私たちができること

徒歩や自転車で移動する

理由＝自動車や船、飛行機などの温室効果ガスが排出される乗り物はなるべく使わずに徒歩や自転車を利用したら少しだけ温室効果ガスが減ると思う。

二酸化炭素排出する工場を減らす

理由＝ある程度工場を減らしたら、二酸化炭素も減ると思うから

木を植える

理由＝木が二酸化炭素を吸収するから木をたくさん植えたほうが良いと思う